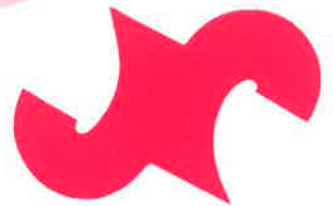


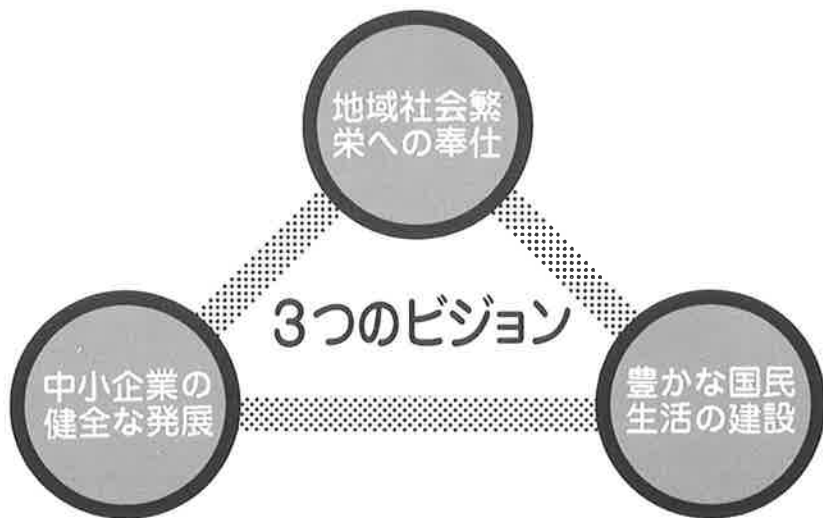
ともしえ

No. 93



■ 函館商工会議所報 ■
1989 新年号

行動する
はつらつたる
商工会議所



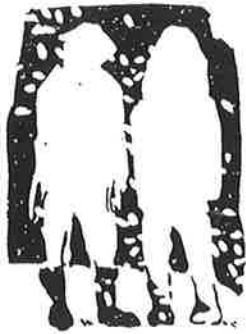
はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL.22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL.22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL.42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL.23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL.51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL.41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL.73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL.52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL.84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL.26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL.65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL.51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL.木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL.57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL.知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL.53-5521代			

視 点	1
新年を迎えて	2
年頭所感	3
会議所の動き	4
事務局日誌	8
誌上年賀	10
新春放談	18
十二支物語	24
成人おめでとう	25
地域の景気	26
調査レポート	30
アドバイスコナー	32
Q & A	34
情報コーナー	36
テイータイム	38
ご 案 内	40



● 視 点

青函トンネルが供用開始されて、始めてのお正月を迎えました。

昭和六十二年春より一気に顕在化してきた当地域の経済活性化は現在もなお続き、設備投資や個人消費等の需要増を背景に、景気は引続き上昇基調を持続しています。

今年もわが国経済は、内需を梃子にした安定成長には大きな変化はなく、これに東西両陣営の協調ムードも加わり、良い方向への大きな転換が世界的にも進むと思われま

す。当地におきましても、間もなく青函インターブロック交流圏計画も策定され実施に入ることでしょう。またポートルネッサンス二十一調査が進められている函館港の将来像にも、従来と異った新しい立場からの検討も進められています。昨年大きな変客を遂げた明治大正の趣をもつ煉瓦造の倉庫群も、函館の顔として定着しつつあり、函館山の展望台やロープウェイそして山麓に広がる景観保存地区の決定など、長い外国貿易を通じてのエキゾチックな情緒あふれる函館の観光は、なお続くことでしょう。

四月には臨空団地第一号誘致企業が三百人規模で生産を開始します。有効求人倍率も〇・五を超え、地域としては様変りの状況ですが、日本全体の平均が一・〇に近いことを考えますと、なお一層の努力が望まれるところです。

しかし、努力すれば報われるということを青函博を通じて知ることができました。明るい明日の函館建設に向けて、さらに、今年も努力を重ねていきたいと思います。

年 頭 所 感



函館商工会議所

会 頭 川 田 寛

昭和六十四年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

わが国経済は、設備投資と個人消費を中心とする国内民間需要が、企業収益、家計所得の増加と表裏一体をなして推挙するという、好ましい環境のもとで成長への道を歩いてまいりました。また、物価も安定基調にあり、対外貿易不均衡にも是正の方向が見られるなど、均衡のとれた展開が進んできています。

当地域におきましても、昭和六十二年夏頃よりの急速な景気の回復そして拡大は、その後も順調に進展し、青函トンネル開通記念博覧会開催による二千億もの波及効果も大きく寄与し、本年もこの傾向が持続すると予想されておることは、ご同慶の至りであります。

青函トンネル開通が地域経済に与えた影響には、当初予想を上廻るものがあり例えば昨年の上半期の人の動き、物の流れを前年と比較してみても、観光客入込で二十%、JR津軽海峡線利用客三十二%（前年は連絡船）、青函の民間ファミリー利用客四十二%、自動車輸送台数十五%、そして鉄道コンテナは二十一%と大きく伸びており、トンネル開通による経済効果には期待された以上のものが見られるのであります。第四次全国総合開発計画に明示の、北日本第三の経済ブロックとなるべき青函インターブロック交流圏の形成が、このように初年次にして大きく前へ進んでいることは、衆目の認める所でもあります。

このような地域の情勢を背景に、経済界として対処していかねばならない課題は、当面次の五点に集約できるのではないかと考えます。

そのまず第一点目は、現在青函インターブロック交流圏構想推進協議会により進められている交流圏計画を策定し、具体的な施策の実現をはかることであります。当商工会議所では、市内の亀田、銭亀沢両商工会の協力も得て、昨年十一月青函圏特別委員会を組織し、この構想に対応していく態勢を整えました。本年は具体的な調査、研究を進めるとともに青森側との交流を通じ相互理解を深め、地域発展の糸口を探ってまいりたいと存じます。

第二点目は高速交通体系の確立であります。当地域は中核都市である函館市より百五十軒の範囲には市は一つもなく、隔離されたような経緯環境にあるほか、先発地域であったことから、戦後は北海道開発の谷間に置かれ経済社会発展の礎となる基幹道路の整備も不十分であります。このため、特に北海道縦貫自動車道など、地域経済に及ぼす影響の大きい事業は、早急に着手し完成させ、空港や鉄道の整備と相俟って高速交通体系を確立させなければなりません。また一方、市民の生活環境を向上させるための道路、下水道等の公共事業の拡大も必要であり交通拠点としての駅前や五稜郭地区の再開発等も促進し、その機能の充実をはかる必要があると考えます。

第三点目は観光資源の整備促進であります。最近観光客が大幅に増加している理山としては、他都市には見られない多くの歴史ある建物やそれらが醸し出している異国情緒豊かな街なみなどがあります。そしてこれらは現代の日本では最早函館でしか見ることのできない価値ある観光資源として評価されており、早急で今後の観光資源の整備のほか、全市的な都市環境を含めた観光対策を推進していく必要があります。

第四点目はテクノポリス函館計画と企業誘致の推進であります。日本経済を支えている二次産業の重要性は将来も変わらないと考えますので、テクノポリス函館計画を推進し、工場企業の技術水準の向上と新製品の開発を進めるとともに雇用開発にもつながる企業誘致を促進していくことも重要であります。

最後の五点目は、函館の将来を背負って立つ人材の育成確保であります。これら諸事業を押し進めていくためには、有能なる人材が必要であり、この育成確保のためには、かねてより努力を重ねてきた独立した大学の設置や、魅力ある職場づくり、大いに力を注いでいかなければなりません。

以上申し上げましたとおり本年度は、これら五点を中心に施策を進め、行動する会議所として、地域の商工業の改善発達に努力してまいりたいと存じます。新しい年を迎えるに当り、私の所信の程を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感



日本商工会議所

会頭 石川 六郎

年頭にあたり、全国の会員ならびにご関係の皆様一言ごあいさつを申し上げます。

さて、顧みますと、わが国経済は、六十一年末を円高不況の谷として回復に転じました。円高の定着やアジアNIESの追い上げなどの影響により、一部の地域や業種では依然厳しい状況にあるものの、全体としてみれば好調な個人消費、民間設備投資をリード役に、順調な歩みを続けております。こうした時期こそ、内需中心の産業構造への転換をより確かなものにするともに、国の経済力が国民生活の質的向上に的確に反映するような経済社会システムを構築し、さらにこれに加えて、文化的・精神的にも豊かさを実感できる生活環境の実現をはかる好機であるといえることができます。

そのためには、地域総合経済団体として全国の四八九の地域に根ざし、一二八万余の会員を擁する、われわれ商工会議所が果たすべき役割は極めて大きいものがあります。それぞれの商工会議所が、会員の総力を結集し、地域のニーズに基づき、その特性と資源を生かした魅力ある地域おこしを達成されることが、国土の均衡ある発展につながり、ひいては地域格差の是正、一極集中の緩和に資するものと信じます。こうした観点から、国、地方公共団体、民間関係諸団体などの協力を得ながら、基幹高速交通体系、情報通信網をはじめとするインフラストラクチャーの整備を促進するとともに、併せて「一商工会議所一プロジェクト」運動を、皆様とともに積極的に推進してまいりたい所存であります。海外へ目を転じますと、一昨年秋の「ブラックマンデー」後、日、米、欧の政策協調体制の重要性が改めて認識され、これが各国の政策運営に生かされてきました。

昨年は、夏から秋にかけて主要国の経済成長率が上方修正されるなど、世界経済も概ね順調な拡大の道をたどっております。しかしながら、EC市場統合や米加自由貿易協定のような地域統合の動きや、巨額の双子の赤字を抱える米国の経済政策の不透明さ、貿易不均衡の継続、発展途上国の累積債務問題の重圧など、不安定要因の根も深く、世界全体での経済構造調整が求められております。なかでも、米国の双子の赤字改善は是非とも必要であり、ブッシュ新大統領が勇断をもって、これに取り組みされるよう期待するものであります。同時に、わが国は、開放的な貿易システムの維持・強化に努めるとともに、各国の政策協調のもとに、内需の拡大、累積債務国への資金還流などの促進をはかり、自由貿易体制下の世界経済の安定と発展に積極的な役割を果たしていくことが、重要と考えられます。

日本商工会議所といたしましては、高成長を続けるアジア太平洋経済圏はもとより、今後、米、欧、諸国などとの二国間、多国間の経済人会議などを通じ、民間経済交流を一層積極的に推進してまいりたいと存じます。

さて、昨年末、「消費税法案」が参議院を通過し、四月から実施される運びとなりました。消費税は、わが国にとって初めてのことであり、なじみのない税であるだけに、大きな影響が考えられます。その実施にあたりましては、税の転嫁の問題や納税事務手続きなど、実態に即した税務執行が行われ、中小・零細企業の経営の悪化を来すことがないよう、細心の注意が払われなければなりません。日本商工会議所といたしましては、全国の商工会議所の皆様と協力しながら、この問題に適切に対処していく所存であります。

さらに、今日、大店法問題を含め流通分野の規制緩和が、方外から大きな注目を浴びております。昨年十二月には、臨時行政改革推進審議会が、この問題を含む「公的規制の緩和等に関する答申」をとりまとめたところであり、この問題は、流通業に携わる全国の数多くの商業関係者の死活問題にもつながることでありますので、私どもといたしましては、答申の方向を踏まえつつ、わが国流通機構全体のあり方の中で、各地会議所の意見を十分に伺った上で、幅広い観点から慎重に取り組んで行きたいと存じます。

また、商工会議所の会員の大部分を占める中小企業は、円高を契機とする著しい環境変化のなかで、その対応に全力で取り組んでおります。わが国経済の活力の源泉であり、経済社会の安定基盤である中小企業が、引き続き健全な発展を遂げ、いくためには、商工会議所といたしましては、これまで以上にきめ細かく積極的な支援が不可欠であると考えます。経営改善普及事業の推進、商店街の近代化、異業種交流による経営資源の融合化、品質管理の普及や情報提供など、一層活発な活動を展開し、中小企業の経営改善や基盤強化をはかつていかなければなりません。

以上、所感の一端を申し述べましたが、全国津々浦々、幅広い層の会員を擁し国際性、地域性、公共性という特色を持つ商工会議所はその原点に立ち返り、常に長期的展望に立つて時流を見極め、地域経済の活性化と自立的発展に努め、文化的・精神的にも豊かで質の高い国民生活構築の先導役とならねばなりません。各商工会議所の力強いご活躍と、会員ならびに関係各位のご健勝、ご繁栄を祈念いたしますとともに、日本商工会議所の活動に対し、一層のご協力をお願いして私のごあいさつといたします。

会 議 所 の 動 き



常議員補充選任等を承認 第三回臨時議員総会開催

本商工会議所第三回臨時議員総会は、去る十二月二日ホテル函館ロイヤルで開催されました。当日は議員九十三人（うち委任状提出者二十一）が出席しました。議事に先立ち、まず川田会頭から議員各位に対し、今年の青函トンネル開業を記念して開催された



「青函博」への多面に亘る協力に對するお礼が述べられ、さらに「当市経済環境は、青函博の波及効果と相俟ってかつてない程の良好な状況にあり、観光面でも入込み数が四百万人に迫る勢いを見せているなど、稔り多い一年であった」旨の挨拶があり、そのあと議事に入りました。

会議では、まず四案件を報告した後、「常議員一人の補充選任」を含む二案件について審議し、それぞれ原案どおり承認決定しました。

議事の概要は次のとおりです。

〔報告事項〕

- 一、各部会・委員会の担当副会頭について
- 二、本所年金共済制度（新設）の募集状況について
- 三、陳情・要望活動の報告
- 四、「テクノポリス函館」企業立地説明会について

〔附議事項〕
一、常議員一人補充選任について 役員の異動により生じていた常議員一人の補充については、前側内匠議員（前側石油俵）が選任されました。

二、本所議員選挙及び選任規約の一部改正について 事務局より、選挙日程を実情にあわせて改正するとともに、内容を再点検しての改正点などについて説明があり、いずれも異議なく原案通り承認され、総会を終了しました。

総会に引き続いて本所議員会による懇談会が開催されました。これには今後青森との交流を深め、青函インターブロック交流圏構想を積極的に推進していかなければならない事情も考慮し、工藤青森市長（代理・千葉助役）、沼田青森商工会議所会頭（代理・田中副会頭）、また当地域の行政側からは木戸浦函館市長、出葉渡島支庁長、海老澤上磯町長、金澤七飯町長、鍵谷大野町長（当日急用のため欠席）の各氏を来賓としてお招きし、経済界・行政のそれぞれの立場から「青函両地域における今後の進むべき方向について」意見が交換されるなど、和やかな雰囲気の中、懇談会を終了しました。

企業発展に貢献の二八〇人を表彰

第30回優良商工従業員表彰式

第三十回函館商工会議所・優良商工従業員表彰式は、十一月二十九日午後三時から、市長・市議会議長・渡島支庁長をはじめ多数の来賓の臨席のもとに、駅前拓銀ビル八階ホールで開催され、八十二事業所から二百八十人が表彰を受けました。

最初に主催者を代表して川田会頭より「本年は青函トンネルが開業し、これを記念しての青函博が開催されるなど、当市にとって記念すべき年であると共に、経済界



においても青函インターロック構想を実現させるため、将来へ向けての積極的な対応が開始された年でもあります。今後皆様も不屈の精神力と貴重な経験をもとに、すばらしい郷土の発展のためご貢献頂きたい」との挨拶がありました。

これに対し受彰者を代表して三浦四郎氏（㈱地主建具製作所）から「本日、榮譽ある表彰式を迎えることができ、これも、事業主をはじめ職場の同僚等の深いご理解があればこそであり、今後も初心を忘れず、なお一層努力を積み重ねて参ります」と謝辞が述べられました。

当日の表彰者は次の通りです。

◎勤続四十年以上

- 吉田平八（北海道石炭開発㈱）
- 三浦四郎（㈱地主建具製作所）
- 大御堂勝悟（北海道日産化学㈱）
- 大滝広義（㈱和泉日光堂）
- 高野 武（函館船舶装備㈱）

◎勤続三十年以上

- 木透進（山一食品㈱） 高坂勝（㈱室崎） 三品良夫（㈱白百合商事） 佐々木藤雄（㈱石山畳店）
- 野澤武（協和自動車工業㈱） 佐々木税 宇治晃一（西野事業㈱）
- 齊藤勝味（㈱五島軒） 越前屋修（函館水産物㈱） 小柳吉勝（㈱和泉日光堂） 中瀬泰隆（㈱丸井今井函館支店） 中畑六郎（深田塗装） 伊藤公雄 三部聡（高陽食品㈱） 小玉郁夫 船井康夫
- 長峰忠男 村山信夫 米沢正芳 望月啓（函館信用金庫） 鈴木良一（立花鉄工㈱） 川口鉄之助 須藤忠雄 沢口政春（函港作業㈱）
- 細川昌三（東一函館青果㈱） 市島康宏（㈱函織） 大川セツ 々木栄三郎（北海道乳業㈱） 金谷博司（日本化学飼料㈱）

◎勤続二十年以上

- （四十一事業所七十四人）
- 代表 早川コト（㈱瀬崎組）

◎勤続十年以上

- （四十九事業所百七十二人）
- 代表 八木美也（五稜郭タワー㈱）
- （勤続十年・二十年については代表者のみ掲載）

社会福祉法人会計・学校法人会計・公益法人会計・市町村会計
一般企業会計のOA・事務改善・財務指導をトータルリングする

ミロク・OA・帳票システム函館地区代理店

株式会社 システム 経 理

代表取締役 矢野 賀士

〒040 函館市新川町9番12号 電話 23-4863番

まず市内経済団体の協調を 函館市商工連絡会議開催

函館市及び函館商工会議所・亀田・銭亀沢両商工会の三経済団体による第二回函館市商工連絡会議が去る十二月五日、ホテル函館ロイヤルで開催されました。

同連絡会議は、昭和五十一年に亀田地域に「長崎屋・イトーヨーカドー」の出店、また本所地域での「ホリタ湯川店」の出店計画な



ど市内における商業流通競争の激化から、当市の商業活動について行政と指導団体の基本的意見の統一をはかるとともに市内経済団体の一体化についての調査研究も含め昭和五十一年十月二十日（当時矢野市長）に設立されたものです。それ以後は事務局レベルによる幹事会（計九回）の開催にとどまっています。この日出席した木戸浦市長、川田本所会頭、大角亀田商工会長、中浜銭亀沢商工会長は、いずれも発足時の方とは変わっており、八年振りの四者始めての

トップ会談となりました。会議では木戸浦市長が座長となり現在抱えている地域の諸問題等について懇談し、また同会議の今後の進め方として、一体化について具体的に進めてはどうかとの提案も出されましたが、経済団体側からは街づくりの点からも必要なことであると認識しているとの発言もなされましたが、現時点では時期早尚であり、まず会議所を中心に今後共情報交換や交流をすすめていく中で、この問題も解決の糸口が見出されることになるのではないかと、そのためにも同会議については今後定期的開催していくことが必要であるということになり、一応四半期毎に開催することが決定されました。

函館・大阪便再開、並びに ダブルトラッキング等を陳情

函館市は陸・海・空の全国交通ネットワークの要衝として、北海道の発展に極めて重要な役割を果たしてきましたが、特に近年にお

いては、高速輸送機関としての航空機利用が年々増加していることから、函館空港整備促進連絡協議会では、去る十一月三十日、函館

・大阪間直行航空路線再開及び函館・東京線へのダブルトラッキングの導入並びに函館空港滑走路拡張工事の早期着工を要望するため、出葉渡島支庁長をはじめ木戸浦函館市長、本所川田会頭一行九名が全日本空本社や関係省庁へ陳情しました。

まず函館・大阪間直行航空路線の再開については、古くから当地域と関西圏域との人的、物的交流が多く行なわれており、今後ますます関西との経済・文化等多面にわたる交流を深め、地域産業の振興をはかる必要があります。また東京中継の不便解消及び利用者の経済的負担軽減等にも資するため、同路線の再開を強く要望したものです。

次に、函館空港の函館・東京線へのダブルトラッキング導入並びに函館空港滑走路拡張工事の早期着手については、本空港は北海道において千歳空港に次ぐ国内幹線空港として、昭和六十二年の年間乗降客は百二十万人を超え、特に函館・東京線の乗降客は約七十九万人に達し、ダブルトラッキング

の基準を上回ったことなどから、まず函館・東京線へのダブルトラックキングの導入を強く要請するとともに、第五次空港整備五ヶ年計画に基づく昭和六十四年度における滑走路三千メートル拡張工事の着工と関連施設の早期整備などを強く要望するため行なわれました。

当日は、運輸省航空局を中心に陳情いたしました。大阪便再開については、今回のジェット便の

就航はYS路線の代替であるため当面難かしいが、今後前向きに対応したい。またダブルトラックグについては調整事項もあるので六十四年実現に向け目下対応中である。さらに三千メートル延長についても、予算要求していきたい旨の発言がありました。また一方地元側の環境づくりになお一層の協力要請がありました。

当市の観光発展に寄与 観光訪問団が長崎市を視察

似たような歴史と港を持つ当市と長崎市は、開港友好都市として昭和六十一年から相互に観光訪問団の交流を行うことになっておりますが、この度の長崎訪問は、函館側から第二回目として木戸浦函館市長を団長に、出町函館市議会議長、本所高野副会長、本所中野観光サービス部会長、そしてミス函館など総勢二十六人による「長崎観光親善訪問団」を編成して、去る十一月二十六日から二十八日まで三日間、長崎市を訪問しまし

た。

長崎市は、国内でも有数の観光都市として全国に知られておりますが、なかでも郊外に建設されたオランダ村は、リアス式海岸で景色の美しい大村湾の一角にバイキング時代の帆船「プリンス・ウィレム号」や風車そして赤レンガの家などを配して、昔ながらのオランダ風景を再現するなどオランダ情緒あふれる観光地として好評を得ており、今回の訪問では、初日に本島長崎市長、松田長崎観光

協会会長、そしてミス長崎など四十人余りの観光関係者が出席して歓迎レセプションが開催され、なごやかに交流が行われました。

また、二十六・二十七の両日は、市内の観光視察が行われ、参加者は、地域経済の中で観光の果たしている役割や地域活性化に対する取組み、さらには観光資源と自然との調和の問題、そしてこれら観光施策の実現に関係してきた方々の努力などについてお聞きすることができ、函館市の観光発展のために参考となる多大な成果を得ることができました。



65年の伝統と信用を誇る

早 川 特 許 事 務 所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所 長 弁 理 士 早 川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 1月18日・2月15日 水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課 (23-1181・内線63番) にお申し込み下さい。



事務局日誌

11月

- *常議員会
 - 14(月) 第1回常議員会
- *総会
 - 14(月) 第2回臨時議員総会
- *部会
 - 22(火) 正副会頭と部会長による「青函博主催者負担金」に関する会議
- *委員会
 - 12(日) 総務委員会
- *正副会頭会議
 - 4(金) 第3回正副会頭会議
 - 14(月) 第4回・第5回正副会頭会議
 - 22(火) 第6回正副会頭会議
- *会議(日商)
 - 24(火) 北海道ブロック中小企業相談所長会議
 - 25(金) 経営改善普及事業推進研究会北海道ブロックワーキンググループ委員会
- *諸会議
 - 1(火) 第3回湯の川温泉街活性化推進懇談会
 - 2(火) J R北海道函館支社・函館市・本所による三者会議
 - 4(金) (株)函館情報技術開発センター取締役会
 - 〃 函館港まつり一万人踊りパレード第1回検討委員会
 - 〃 所報「ともえ」No.92(11月号)編集会議
 - 5(日) 婦人会例会
 - 7(月) 函館地区税務指導協議会
 - 8(火) 渡島支庁管内市町村長と商工会長会議
 - 〃 函館税務署と経営指導員との連絡協議会
 - 〃 札幌通産局「産業連関説明会」
 - 9(水) 成功させよう青函博の会正副会長会議・解散総会
 - 〃 箱館五稜郭祭実行委員会役員会
 - 10(木) 「税を知る週間」懇談会
 - 12(日) 婦人会例会・講演会
 - 14(月) テクノポリス函館企業立地説明会
 - 16(火) 国税モニター・国税広報協力委員座談会
 - 17(水) 全日空吉川取締役との懇談
 - 18(金) 函館経営者協会幹事会
 - 〃 第4回湯の川温泉街活性化推進懇談会
 - 21(月) 函館市特別職報酬審議会
 - 〃 函館市地方港湾審議会
 - 〃 所報「ともえ」No.93(新年号)編集会議
 - 22(火) 函館販売士協会理事会
 - 24(木) 函館港まつり一万人踊りパレード第2回検討委員会
 - 〃 函館観光協会総務委員会
 - 25(金) 新都心五稜郭協議会11月例会・懇親会
 - 28(月) 函館公共職業安定所企業懇談会
 - 〃 婦人会例会
 - 〃 昭和63年度第4回小規模企業振興委員連絡会議
 - 29(火) 函館市都市計画審議会
 - 〃 (財)テクノポリス函館技術振興協会技術審査委員会

- *陳情・要望
 - 30(水) 函館-大阪間直行航空路線再開・函館-東京線へのダブルトラッキングの導入・函館空港滑走路拡張工事の早期着手に関する陳情
- *講習・催物
 - 2(水) 経営安定特別セミナー「よくわかる手形・小切手の実務知識」
 - 〃 記帳講習会
 - 3(水)~9(水) 第51回函館菊花会展覧会
 - 5(日) 第10回函館司法書士会市民公開講座「函館経済圏活性化への視点」講演とシンポジウム
 - 9(水) 理容店経営セミナー
 - 〃 記帳講習会
 - 11(金) 税制特別講演会「税制改革のポイント」
 - 〃 法律相談
 - 14(月) 経営相談
 - 15(火) すし組合講習会「繁盛するすし店経営のノウハウ」
 - 15(火)・16(水) 初心者のための「品質管理入門講習会」
 - 16(水) 発明相談
 - 17(木) 箱館奉行所復元促進期成会第2回講演会
 - 〃 出版記念講演会「のびる企業の経営戦略」
 - 18(金) 函館経営者協会セミナー「中小・中堅企業における退職金特別講座」
 - 22(火) 法人の年末調整説明会
 - 24(水) 経営相談
 - 25(金) 北東公庫出融資相談室
- *検定試験
 - 20(月) 第69回簿記検定試験
- *刊行物
 - 21(月) 所報「ともえ」No.92(11月号)発行
- *相談・診断
 - 金融 176 税務 49 経理 22 経営 86
 - 労働 9 取引 5 その他 4 計 351
- *貸室
 - 本館 35 別館 7
- *文書
 - 受信 215 発信 24
- *慶弔・その他
 - 1(火) 北海道菓子卸商業組合永年勤続優良社員表彰式
 - 3(木) 函館機械金属造船工業協同組合連合会永年勤続優良従業員表彰式
 - 4(金) 渡島地方技能尊重協議会優秀技能者表彰式・懇談会
 - 〃 函館家具工業協同組合永年勤続優良従業員表彰式
 - 6(日) 函館ハリストス正教会復活聖堂修復に係る成聖式・祝賀会
 - 7(月)~11(金) 経営指導員研修
 - 9(水) 第3回郷土料理まつりご試食会
 - 14(月) 横浜博キャラバン隊本所表敬訪問
 - 18(金) 昭和63年度函館市技能功労者表彰式・中小企業永年勤続者表彰式
 - 22(火) 北海道警察函館方面本部永年勤続者表彰式
 - 25(金) 駒井惇助氏外務大臣表彰受賞記念祝賀会
 - 25(金)~27(日) 中国物産特別バザール
 - 26(日) 昭和63年度函館の街をきれいにする活動功労者表彰式
 - 26(日)~28(月) 長崎市観光交流訪問団
 - 28(月) 税関116周年記念式典
 - 29(火) 第30回優良商工従業員表彰式
 - 〃 (社)函館競馬場馬主協会昭和63年度社会福祉財団助成金目録贈呈式
 - 30(水) N H K函館放送局職員研修会
 - 〃 青森県北海道事務所「青森県の物産と観光展」の開催に伴う表敬訪問

●炭火●炉ばた焼

新鮮な海の幸を中心に豊富なメニュー。
 食べて飲んでしかも安く心と心の
 通いあえる店!!



*本店 / 函館市松風町4-8 TEL26-2555 PM4時~AM3時迄
 *支店 / 函館市松風町8-4 (仲通り) TEL22-4928 年中無休



事務局日誌

12月

***総会**

2(金) 第3回臨時議員総会

***部会**

- 5(月) 農水産部会 (青函博主催者負担金追加募集に係る議員懇談会)
 - 〃 工業部会 (〃 〃)
- 6(火) 理財・運輸港湾両部会正副部会長による青函博主催者負担金追加募集のための協力依頼
- 7(木) 商業部会正副部会長会議
 - 〃 観光サービス部会正副部会長会議
- 8(木) 理財部会 (青函博主催者負担金追加募集に係る議員懇談会)
 - 15(木) 観光サービス部会 (〃 〃)
 - 〃 運輸港湾部会 (〃 〃)
 - 〃 商業部会 (〃 〃)
- 19(月) 正副会頭と六部会長による青函博主催者負担金追加募集に係る最終会議

***正副会頭会議**

- 10(土) 第7回正副会頭会議
- 27(火) 第8回 〃

***会議 (日商)**

- 15(木) 第368回常議員会

***審査会**

- 1(木) 小企業等経営改善資金の審査会
- 14(木) 〃 〃

***諸会議**

- 2(金) 議員会定時総会
 - 〃 特定地域活性化対策事業推進会議
- 3(土) 函館プロモーション・ビューロー (H・P・B) 第4回フォーラム'88
 - 〃 函館青年会議所会員大会
- 5(月) 第2回函館市商工連絡会議
 - 〃 HBC函館放送局「函館の情勢懇談会」
 - 〃 労働保険事務組合監査会
- 7(木) 北海道経営者協会理事会
 - 〃 国立函館複合大学誘致についての懇談会
 - 〃 婦人会役員会
- 7・8(木) 於、室蘭商工会議所 (仮称) 噴火湾地域経済復興懇談会
- 8(木) 年金共済事務連絡会議

- 9(金) 北海道信用保証協会函館支所との勉強会
 - 〃 所報「ともえ」No.93(新年号)新春座談会
- 13(火) 函館繊維卸商組合役員会
 - 〃 千代田生命ご加入者懇談会
- 15(木) 婦人会クリスマス夕食会
- 19(月) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会幹事会
- 29(木) (社)函館観光協会総務委員会

***講習・催物**

- 1(休)~6(火) 昭和63年度青森県の物産と観光展
- 4(日) 第12回そろばんコンクール記録会
- 9(金) 決算説明会
 - 〃 函館地域情報化セミナー
- 12(月) 決算説明会
- 13(火) 〃
- 14(木) 〃
- 15(木) 〃
- 21(木) 発明相談
- 23(金) 法律相談

***検定試験**

- 4(日) 第8回3級ワープロ検定試験

***相談・診断**

金融 157 税務 109 経理 30 経営 258
労働 10 取引 0 その他 1 計 565

***貸室**

本館 15 別館 6

***文書**

受信 147 発信 7

***慶弔・その他**

- 1(木) 函館宅地建物取引業協同組合、函館不動産会館落成式典並びに祝宴
- 2(金) 議員会夕食懇談会
- 3(土) 函館市医師会招待会
- 4(日) 日本通運(株)磯町函館トラックターミナル被露及び落成祝賀会
 - 〃 北海道立水産高等学校実習船進水式
- 5(月)・6(火) ポートセールス東京視察会
- 9(金) 加藤 昇氏のご功績をたたえる会
- 10(土) 函館地方左官業協同組合副理事長・函館左官訓練協会副会長 五十嵐多喜雄氏叙勲披露祝賀会
- 19(月) 青函博主催者負担金 (本所負担分) 日録贈呈
 - 〃 NHK新春番組録画撮り (函館観光を考える)
- 21(木) 青函博終了のご挨拶
- 22(木) 函館警察官友の会歳末警戒職員慰問
- 26(月) 道経連青函博委員会解散会
- 27(火) 道々五稜郭公園線シンボルロード整備事業コミュニティ・マート構想第二期 (南街区) 街路整備事業完成式
- 28(木) 本所仕事納め

本年もよろしくお願ひ申し上げます

〒041 函館市西桔梗町589番地25 函館市中央卸売市場内



函館青果物商業協同組合

理事長 小笠原 孝

TEL (0138) 代 表 **49-5511** 番
FAX **49-5513** 番
購買部 **49-4329** 番



北海道旅客鉄道(株)函館支社
取締役函館支社長

青山 繁樹

若松町二二二三

衆議院議員

阿部 文男

若松町二二一五

(株)近藤商会
取締役社長

池見 厚一

西桔梗町五八九

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務

泉 清治

高松町五二一(函館空港内)

函館商工信用組合
理事長

荒井 孝一

千歳町九一六

函館商工会議所
三号議員

石井 正之

富国生命保険相互会社函館支社
支社長

稲田 亜夫

大手町二一一

北海道ガス(株)函館支社
専務取締役函館支社長

安藤 勝見

万代町八一

函館米穀(株)
代表取締役

石上 伊佐男

万代町二〇一八

キングハイヤー(株)
代表取締役社長

今川 重男

美原二一七一

ペンケイ綿(株)
代表取締役

飯田 貢一

昭和四二二四一七

布目水産食品冷蔵(株)
代表取締役社長

石黒 義男

弁天町一七一〇

朝日生命保険相互会社函館支社
支社長

今吉 英夫

大手町一七一六



千代田生命保険相互会社函館支社
支社長

岩根賢周

大手町二一七

参議院議員

岩本政光

札幌市中央区北四条西二丁目
(石垣ビル)

中小企業金融公庫函館出張所
所長

植田満哉

松風町二一三三

住友生命保険相互会社函館支社
支社長

伊与部 武

本町七一八

丸卓不動産(株)
代表取締役

遠藤烈子

宝来町二一五

(株)ティーオー小笠原
代表取締役社長

小笠原 金悦

松川町四五一六

(株)ティーオースイミングスクール
代表取締役社長

小笠原 孝

本通三一一一

(株)棒二森屋
代表取締役社長

萩野 清

若松町一七一二

小熊水産倉庫(株)
代表取締役社長

小熊 勝夫

大町二一四

(株)陶陶亭
代表取締役社長

加地 彦太郎

若松町一八一二〇

北海興業(株)
取締役相談役

加藤 隆三

中島町一四一六

国民金融公庫函館支店
支店長

門脇 俊憲

豊川町二〇一九

三井生命保険相互会社函館支社
支社長

金谷 守

梁川町五十八



日本通運(株)函館支店
支店長
鎌田 徹
若松町一四一〇

(株)湯の川プリンスホテル
代表取締役社長
河内 孝夫
湯川町一〇二二五

日本化学飼料(株)
代表取締役社長
川田 寛
浅野町三一六

函館トヨペット(株)
代表取締役
河村 澤治
美原二一四一

(株)北村船具店
代表取締役社長
北村 實
末広町二二一六

東一函館青果(株)
代表取締役社長
木戸浦 辰夫
西桔梗町五八九一五

函館魚市場(株)
代表取締役社長
木村 勝太郎
豊川町二七一六

野村證券(株)函館支店
支店長
久木田 伸
若松町七一五

真鉄工業(株)
代表取締役
倉崎 六利
浅野町四一八

(株)高木組
代表取締役社長
黒田 憲治
東雲町一九一三

(有)伸焯商事・函館名産品商事(株)
代表取締役
小坂 昭一
本町三一三

小島商事(株)
代表取締役社長
小島 悦郎
桔梗町二七二

富士ゼロックス(株)北海道支店
函館出張所所長
小林 秀恒
本町七一八(道銀・住友生命ビル)